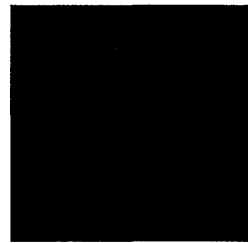


(様式第9)

愛大医総82号  
平成19年10月1日

厚生労働大臣 殿

愛媛大学医学部附属病院長  
横山 雅



愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

このことについて、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 (別紙様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 (別紙様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	56 人
--------	------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 (別紙様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 (別紙様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	168 人	152 人	264.8 人	看護業務補助者	25 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	6 人	9 人	12.8 人	理学療法士	4 人	臨床検査技師 衛生検査技師 その他	32 人
薬剤師	17 人	7 人	23.7 人	作業療法士	0 人		0 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	2 人		0 人
助産師	8 人	0 人	8.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	416 人	10 人	424.0 人	臨床工学技士	4 人	医療社会事業従事者	0 人
准看護師	0 人	0 人	0 人	栄養士	0 人	その他の技術員	7 人
歯科衛生士	1 人	2 人	3.0 人	歯科技工士	6 人	事務職員	60 人
管理栄養士	5 人	0 人	5.0 人	診療放射線技師	10 人	その他の職員	20 人

- 8 入院患者，外来患者及び調剤の数
- 9 歯科，矯正歯科，小児歯科の入院患者及び外来患者の数

区 分	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	519.0 人	16.5 人	535.5 人
1日当たり平均外来患者数	1036.1 人	69.4 人	1105.5 人
1日当たり平均調剤数	5912.2 剤		

- 10 専任の医療に係る安全管理を行う者及び専任の院内感染対策を行う者の配置状況  
(別紙様式第13-2)
- 11 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況
- 12 病院内の患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況，
- 13 医療に係る安全管理のための指針の整備状況
- 14 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況
- 15 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況
- 16 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

## (様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・レーザー血管形成術	有・無	人
・悪性腫瘍の遺伝子診断	有・無	人
・進行性筋ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術	有・無	人
・活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・脳死肝臓移植手術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・心臓移植手術	有・無	人
・腹腔鏡下前立腺摘除術	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・CT透視ガイド下生検	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験（CD-DST法）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膵臓移植手術（	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脳死肺移植手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術（CT透視下法）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞（CD34陽性細胞に限る。）による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

（注）1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	49人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	38人
・多発性硬化症	48人	・ウェゲナー肉芽腫症	13人
・重症筋無力症	48人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	17人
・全身性エリテマトーデス	132人	・多系統萎縮症	21人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	7人
・再生不良性貧血	18人	・膿疱性乾癬	8人
・サルコイドーシス	45人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	29人	・原発性胆汁性肝硬変	27人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	103人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	47人	・特発性大腿骨頭壊死症	51人
・結節性動脈周囲炎	10人	・混合性結合組織病	29人
・潰瘍性大腸炎	68人	・原発性免疫不全症候群	6人
・大動脈炎症候群	15人	・特発性間質性肺炎	10人
・ピュルガー病	12人	・網膜色素変性症	19人
・天疱瘡	31人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	42人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	37人	・神経線維腫症	8人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	1人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	156人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	89人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	2人	合計	1262人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に2回程度 1ヶ月に8回程度		
剖検の状況	剖検症例数	55 例	剖検率 28.2 %

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
バイオインフォマティクスに基づいた口腔癌の個別診断・治療法の確立	浜川 裕之	口腔顎顔面外科学	3,500,000	補委 文部科学省科学研究費
卵巣癌動物モデル(トランスジェニックマウス)の開発	伊藤 昌春	生殖病態外科学	2,900,000	補委 文部科学省科学研究費
造血器腫瘍に対する新たな免疫遺伝子療法の開発	安川 正貴	生体統御内科学	5,900,000	補委 文部科学省科学研究費
組織特異的ノックアウトマウスを用いた乾癬発症機序におけるSOCSファミリーの研究	橋本 公二	感覚皮膚医学	9,600,000	補委 文部科学省科学研究費
Therapeutic Time Windowに基づいた虚血性難聴の治療戦略	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	11,000,000	補委 文部科学省科学研究費
特発性血小板減少性紫斑病における自己反応性T細胞クローンの機能解析	羽藤 高明	輸血部	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
モチリン受容体における作用発現の分子機構の解析	松浦 文三	第三内科	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
小児期の生活習慣とインスリン抵抗性をベースとする生活習慣病リスクに関する国際比較	竹本 幸司	周産母子センター	800,000	補委 文部科学省科学研究費
虚血性臓器障害に対するヒステジン投与の効果に関する研究	土手 健太郎	集中治療部	900,000	補委 文部科学省科学研究費
原発性胆汁性肝硬変に対する免疫寛容誘導樹状細胞を用いた治療法の開発	S・M・F Akbar	先端病態制御内科学	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
強化・再生自己心膜を用いて作成する生体弁の開発	今川 弘	臓器再生外科学	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
胆管癌に対する腫瘍選択的増殖型及び自殺遺伝子導入型アデノウイルスによる遺伝子治療	本田 和男	器官制御外科学	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
糖尿病のうつ病併発に関する基礎的検討	荒木 博陽	薬剤部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
ベル麻痺の神経障害機構におけるNOの関与	羽藤 直人	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
CTL誘導によるキャリアー細胞を用いた卵巣癌特異的細胞性免疫性遺伝子治療の試み	濱田 雄行	産科婦人科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
C型肝炎ウイルス複製モデルを用いた持続感染機序の解明および治療法の探究	日浅 陽一	第三内科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
DNA修復阻害に基づいた悪性グリオーマに対する新規放射線治療の確立	大西 丘倫	脳神経病態外科学	700,000	補委 文部科学省科学研究費
反復気圧負荷による脳虚血傷害に対する神経保護効果の研究	前川 聡一	救急侵襲制御医学	800,000	補委 文部科学省科学研究費
PET/CT(陽電子放射断層撮影併用CT)によるCT冠動脈造影と心機能の同時評価	東野 博	放射線科	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
本邦におけるB型肝炎ゲノタイプDの拡散速度と拡散防止に関する分子疫学的研究	道堯 浩二郎	光学医療診療部	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
HBs抗体産生を規定する樹状細胞の特性の解析と樹状細胞・B細胞系のクロストーク	恩地 森一	先端病態制御内科学	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
2型糖尿病感受性レジスチン遺伝子プロモーター特異的転写活性化因子の同定	大澤 春彦	分子遺伝制御内科学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
新たに同定したPDE3B結合性リン酸化蛋白のクローニングと機能解析	牧野 英一	分子遺伝制御内科学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
ケモカインとそのレセプターによる移植片対宿主病の臓器傷害の制御に関する研究	長谷川 均	生体統御内科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
嚥下障害の病態および重症度の客観的評価法の基準化に関する研究	兵頭 政光	頭頸部・感覚器外科学	2,600,000	補委 文部科学省科学研究費
妊娠高血圧症候群の病態形成における骨髄幹細胞の役割	松原 圭一	周産母子センター	2,500,000	補委 文部科学省科学研究費
抗血栓・抗炎症能を有するハイブリッド小口径人工血管の開発	塩崎 隆博	第二外科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
神経原性慢性疼痛に対する遺伝子導入マロアージ脊髄内移植法を用いた治療法の開発	山本 晴康	運動器学	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
皮膚リンパ管内皮細胞の遊走および管腔形成機構の研究	村上 信司	皮膚科	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費
CTを用いた冠動脈と心機能の同時評価・融合イメージ作成ソフトウェアの開発	望月 輝一	生体画像応用医学	900,000	補委 文部科学省科学研究費
表皮細胞におけるToll-like receptorシグナル伝達機構の研究	花川 靖	感覚皮膚医学	6,100,000	補委 文部科学省科学研究費
癌遺伝子を分子標的とした口腔癌の分化誘導療法	中城 公一	口腔顎顔面外科学	5,000,000	補委 文部科学省科学研究費
単純ヘルペスウイルスによる前庭神経炎に関する基礎的研究	脇坂 浩之	耳鼻咽喉科	900,000	補委 文部科学省科学研究費
エンドセリン-1による表皮細胞遊走機構の研究	徳丸 晶	皮膚科	900,000	補委 文部科学省科学研究費
加齢による嚥下機能障害のメカニズムとIGF-1投与による予防効果に関する研究	田口 亜紀	耳鼻咽喉科	700,000	補委 文部科学省科学研究費
脊髄損傷に対するアデノシンを用いた二次的神経障害の抑制と軸索再生に関する研究	森野 忠夫	整形外科	800,000	補委 文部科学省科学研究費
悪性グリオーマにおけるDNA二重鎖切断修復遺伝子制御による新規放射線療法の開発	原田 広信	脳神経外科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
角膜内皮細胞の増殖抑制における転写抑制因子の役割	上甲 武志	眼科	500,000	補委 文部科学省科学研究費
皮脂腺細胞の新規分泌小胞の発見と保湿・抗菌活性の検討	永井 彩子	老年科	2,600,000	補委 文部科学省科学研究費
血管特異的ノックアウトマウスを用いた血管及びリンパ管発生におけるSTAT3の役割	平川 聡史	皮膚科	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費
延命関連遺伝子導入による唾液分泌機能低下の防止に関する研究	住田 知樹	歯科口腔外科	2,400,000	補委 文部科学省科学研究費
ベル麻痺モデルを用いた顔面神経麻痺治療の検討とウイルスゲノム戦略に関する研究	高橋 宏尚	頭頸部・感覚器外科学	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
喉頭機能回復に及ぼす軸索伸長阻害因子の影響に関する研究	本吉 和美	頭頸部・感覚器外科学	2,400,000	補委 文部科学省科学研究費



(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
拒絶反応における補体活性化のメカニズムの解明と新たな移植患者選択システムの構築	渡邊 常太	器官制御外科学	2,000,000	補委	文部科学省科学研究費
制御性樹状細胞を用いた潰瘍性大腸炎に対する新しい治療法の開発	村上 英広	先端病態制御内科学	1,900,000	補委	文部科学省科学研究費
ES細胞からの赤芽球、巨核球系分化におけるCキナーゼアインフォームの役割	山之内 純	第一内科	1,800,000	補委	文部科学省科学研究費
一過性内耳虚血障害に対する骨髄幹細胞の再生医療	兵頭 純	耳鼻咽喉科	2,300,000	補委	文部科学省科学研究費
膜型細胞増殖因子アンブレグリンのシェディング機構とカルボキシル末断片の機能解析	小屋 恵理子	歯科口腔外科	1,600,000	補委	文部科学省科学研究費
適切な再建を目指した悪性腫瘍リンパ管新生の評価と転移メカニズムの解析	永松 将吾	皮膚科	1,900,000	補委	文部科学省科学研究費
焼灼療法としての高周波磁場による誘導加熱法の研究	佐藤 公一	第二外科	2,200,000	補委	文部科学省科学研究費
精神生理機能の側面からみた注意欠陥/多動性障害の病態研究	堀内 史枝	精神科神経科	2,300,000	補委	文部科学省科学研究費
T細胞レセプター遺伝子導入による造血管腫瘍に対する免疫療法の開発	東 太地	第一内科	1,800,000	補委	文部科学省科学研究費
悪性黒色腫におけるリンパ管新生とリンパ節転移抑制を目指す抗VEGF-A療法の開発	平川 聡史	皮膚科	3,400,000	補委	文部科学省科学研究費
造血管腫瘍に対する新たな細胞免疫療法の開発	安川 正貴	生体制御内科学	5,200,000	補委	文部科学省科学研究費
高血圧感受性遺伝子群の同定	三木 哲郎	加齢制御内科学	3,600,000	補委	文部科学省科学研究費
意味記憶の神経基盤	田邊 敬貴	脳とこころの医学	2,500,000	補委	文部科学省科学研究費
再生軟骨を利用した外耳道造成術の開発とその臨床応用上の問題点の研究	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	800,000	補委	文部科学省科学研究費
表皮幹細胞を用いた爪の再生に関する研究	白方 裕司	感覚皮膚医学	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費
HSP90シャペロン複合体を介した癌選択的分子標的治療と放射線感受性増強	浜川 裕之	口腔顎顔面外科学	1,800,000	補委	文部科学省科学研究費
Lumicanの免疫機能解析	白石 敦	眼科	1,400,000	補委	文部科学省科学研究費
レンチウイルスベクターとsh-RNAを用いたノックダウンマウスの作製	橋本 公二	感覚皮膚医学	1,700,000	補委	文部科学省科学研究費
小児がん克服者のQOLと予後の把握およびその追跡システムの確立に関する研究	石田 也寸志	小児医学	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	大西 丘倫	脳神経病態外科学	700,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	大西 丘倫	脳神経病態外科学	800,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
重症多形滲出性紅斑に対する眼科的治療法の確立	大橋 裕一	視機能外科学	2,500,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金

小計 22

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
L3分画および血流中癌細胞テロメラーゼを指標とした肝細胞癌のサーベイランスの有用性	恩地 森一	先端病態制御内科学	1,800,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
B型及びC型肝炎ウイルス感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究	恩地 森一	先端病態制御内科学	3,500,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
急性高度難聴に関する調査研究	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	1,200,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
感音難聴に対する内耳薬物投与システム臨床応用に関する研究	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	2,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
家庭用化学製品のリスク管理におけるヒトデータの利用に関する研究	白川 洋一	救急侵襲制御医学	1,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究	田邊 敬貴	脳とこころの医学	9,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
神経変性疾患に関する調査研究	野元 正弘	病態治療内科学	1,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
新規抗パーキンソン病薬ゾニサミドの神経保護作用に関する臨床研究	野元 正弘	病態治療内科学	3,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
難治性眼表面疾患に対する培養粘膜上皮幹細胞シート移植術の開発に関する研究	橋本 公二	感覚皮膚医学	1,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	橋本 公二	感覚皮膚医学	2,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
重症多形滲出性紅斑に対する眼科的治療法の確立	橋本 公二	感覚皮膚医学	2,500,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
難治性皮膚疾患(重症多形滲出性紅斑(急性期)を含む)の画期的治療法に関する研究	橋本 公二	感覚皮膚医学	38,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
健康長寿に関与する要因の研究ー超百寿者及び長寿sib調査ー	三木 哲郎	加齢制御内科学	1,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
中高年健康増進のためのITによる地域連携型運動処方システムの構築	三木 哲郎	加齢制御内科学	2,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
国際的遺伝疫学研究のためのバイオバンク構築とそれを基盤とした老年病の遺伝的素因解明に関する日中韓共同研究	三木 哲郎	加齢制御内科学	5,000,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
老年病の発症に関わる遺伝ー環境ネットワークの解明	三木 哲郎	加齢制御内科学	17,425,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究	望月 輝一	生体画像応用医学	1,200,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
抗腫瘍抗原ペプチドの臨床への導入に関する研究	安川 正貴	生体統御内科学	1,400,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	安川 正貴	生体統御内科学	800,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
遺伝子多型検索による高血圧個別化診療の確立に関する研究	三木 哲郎	加齢制御内科学	1,200,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金
遺伝子多型検索による高血圧個別化診療の確立に関する研究	檜垣 實男	病態情報内科学	1,200,000	⑤補委 厚生労働省科学研究費補助金

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
地方健康増進計画の技術的支援に関する研究	榎本 真幸	医療福祉支援センター	700,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
多施設共同研究による病態解明に関する研究	三木 哲郎	加齢制御内科学	9,091,000	補委 独立行政法人医薬基盤研究所
タンパク質の個別的解析プログラム(転写・翻訳)	安川 正貴	生体統御内科学	1,800,000	補委 公立大学法人横浜市立大学
「ヒト体性および胚性幹細胞を利用した人工角膜の作成」(臨床応用に関する研究)	大橋 裕一	視機能外科学	2,950,000	補委 文部科学省
「タンパク質の個別的解析プログラム(転写・翻訳)」(TPX-2/Aurora-Aを標的としたがん免疫療法の開発)	安川 正貴	生体統御内科学	2,000,000	補委 文部科学省
神経疾患の診断・治療・予防に関する包括的臨床研究	野元 正弘	病態治療内科学	450,000	補委 国立精神・神経センター
認知症と骨粗鬆症のための臨床データベース構築の応用と治療法の標準化に関する研究	池田 学	脳とこころの医学	1,500,000	補委 国立長寿医療センター
嚥下内視鏡検査, 嚥下造影検査, および嚥下圧検査を指標とした加齢による嚥下障害の治療法および予防法の確立	兵頭 政光	頭頸部・感覚器外科学	1,200,000	補委 国立長寿医療センター
レビー小体病と前頭側葉変性症の臨床データベース構築と治療法の標準化	池田 学	脳とこころの医学	1,500,000	補委 国立長寿医療センター
脳梗塞関連遺伝多型に関する研究	小原 克彦	加齢制御内科学	800,000	補委 国立長寿医療センター

小計10

計 96

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp.Hematol 34(5);642-653(2006)	Human herpesvirus 6 impairs differentiation of monocytes to dendritic cells.	安川 正貴	第一内科
Eur .J .Pediatr . 165;384-388(2006)	Familial hemophagocytic lymphohistiocytosis with the MUNC13-4 mutation.	安川 正貴	第一内科
J. Immunol. 176;1439-1446(2006)	Human naive CD8 T cells down-regulate expression of the WNT pathway transcription factors lymphoid enhancer binding factor 1 and transcription factor 7 following antigen encounter in vitro and in vivo.	長谷川 均	第一内科
Arthritis Rheum. 54;1174-1183(2006)	Antagonist of interferon-inducible protein 10/CXCL10 ameliorates the progression of autoimmune sialadenitis in MRL/lpr mice.	長谷川 均	第一内科
Blood 107;3197-3204(2006)	Identification of cutaneous lymphocyte-associated antigen as sialyl 6-sulfoLewis X, a selectin ligand expressed on a subset of skin-homing helper memory T cells.	長谷川 均	第一内科
Exp. Dermatol. 15;432-440(2006)	Skin irritants and contact sensitizers induce Langerhans cell migration and maturation at irritant concentration.	長谷川 均	第一内科
Biochem. Biophys. Res. Commun. 347;827-832(2006)	Identification of N-arachidonylglycine as the endogenous ligand for orphan G-protein-coupled receptor GPR18.	長谷川 均	第一内科
Arthritis Rheum. 54;3591-3600(2006)	IK cytokine ameliorates the progression of lupus nephritis in MRL/lpr mice	長谷川 均	第一内科
Arthritis Res Ther 9(1);(2007)	Therapy for pneumonitis and sialadenitis by accumulation of CCR2-expressing CD4+CD25+ regulatory T cells in MRL/lpr mice.	長谷川 均	第一内科
J Thromb Haemost 4(10);2278-2280(2006)	Identification of critical residues for regulation of integrin activation in the beta6-alpha7 loop of the integrin beta3 I-like domain.	山之内 純	第一内科
愛媛医学 25;46-49(2006)	Rituximabが奏功した間質性肺炎および血球貪食症候群合併の全身性エリテマトーデス	高田 清式	第一内科
内科専門医会誌 18;338-342(2006)	発熱、胸部異常陰影を症状とした免疫再構築症候群	高田 清式	第一内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Asthma 43:125-129(2006)	Effect of inhaled bronchodilators on air trapping in patients with stable asthma	檜垣 實男	第二内科
Clin Exp Hypertens 28:451-461(2006)	Valsartan reduces serum cystatin C and the renal vascular resistance in patients with essential hypertension.	檜垣 實男	第二内科
Clin Sci 111:319-324(2006)	Osteopontin and carotid atherosclerosis in patients with essential hypertension.	檜垣 實男	第二内科
日本病態栄養学会誌 9(3):229-232(2006)	生活習慣病におけるNSTおよびチーム医療一点のNSTから線さらに面のNSTへ	恩地 森一	第三内科
日本病態栄養学会誌 9(1):3-9(2006)	生活習慣病の治療・予防における栄養療法の意義と医療経済評価	恩地 森一	第三内科
Journal of Nutrition 137(3):671-675(2007)	Impaired dendritic cell function resulting from chronic undernutrition disrupts antigen-specific immune responses in mice.	恩地 森一	第三内科
Journal of Gastroenterology (2006)	Percutaneous ultrasound-guided radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma used with artificially-induced pleural effusion and ascites.	恩地 森一	第三内科
Hepatology Research (2006)	Diabetes mellitus reduces the therapeutic effectiveness of interferon $\alpha$ 2b plus ribavirin therapy in patients with chronic hepatitis C.	恩地 森一	第三内科
Nutrition (2006)	A late evening snack including branched-chain amino-acid-enriched nutrients, but not ordinary food, improves the nutritional state of patients with liver cirrhosis.	恩地 森一	第三内科
Diabetes Research and Clinical Practice (2006)	Hepatic Safety Profile and Glycemic Control of Pioglitazone in More than 20,000 Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: Postmarketing Surveillance Study in Japan.	恩地 森一	第三内科
Liver International (2006)	Usefulness of contrast enhanced ultrasonography with abdominal virtual ultrasonography in assessing therapeutic response in hepatocellular carcinoma treated with radiofrequency ablation.	恩地 森一	第三内科
Intervirolgy (2006)	Heterogeneity of hepatitis B virus genotype D in Japan.	恩地 森一	第三内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Gastroenterology 41;1220-1226(2006)	Clinical features of symptomatic primary biliary cirrhosis initially complicated with esophageal varices.	恩地 森一	第三内科
Hepatology Research 36;139-142(2006)	Clinical characteristics of autoimmune hepatitis in older aged patients.	恩地 森一	第三内科
Hepatology 44(2)326-334(2006)	Influence of Genotypes and Precore Mutations on Fulminant or Chronic Outcome of Acute Hepatitis B Virus Infection.	恩地 森一	第三内科
J Virol Methods 132;195-203(2006)	Cell-based models of sustained, interferon-sensitive hepatitis C virus genotype 1 replication.	恩地 森一	第三内科
J Bio Chem 281;12390-12396(2006)	Differential contributions of motilin receptor extracellular domains for peptide and non-peptidyl agonist binding and activity.	恩地 森一	第三内科
J Gastroenterol 41;223-230(2006)	Molecular characterization and distribution of motilin family receptors in the human gastrointestinal tract.	恩地 森一	第三内科
World Journal of Gastroenterology 12(13);2075-2079(2006)	Prognosis following transcatheter arterial embolization for 121 patients with unresectable hepatocellular carcinoma with or without a history of treatment.	恩地 森一	第三内科
European Journal of Pharmacology 535;25-33(2006)	Direct effects of nitric oxide on histamine release from rat enterochromaffin-like cells.	恩地 森一	第三内科
Journal of Medical Virology 78;44-52(2006)	Tracing the History of Hepatitis B Virus Genotype D in Western Japan.	恩地 森一	第三内科
American Journal of Roentgenology 186;255-260(2006)	Virtual Sonographic Radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma visualized on CT but not on conventional sonography.	恩地 森一	第三内科
肝臓 47;384-391(2006)	本邦に於けるE型肝炎ウイルス感染の統計学的・疫学的・ウイルス学的特徴:全国254例に基づく解析	道堯 浩二郎	第三内科
Anti-infective agents: Medicinal Chemistry 5;75-86(2006)	Rationale for designing of antigen-specific immune therapy including dendritic cell-based therapy in patients with chronic hepatitis B virus infection.	SHEIKH MOHAMMAD FAZLE AKBAR	第三内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World Journal of Gastroenterology 12;2876-2873(2006)	Immune therapy including dendritic cell based therapy in chronic hepatitis B virus infection.	SHEIKH MOHAMMAD FAZLE AKBAR	第三内科
Hepatology Research 35;1-2(2006)	Zinc and hepatitis B virus vaccination.	SHEIKH MOHAMMAD FAZLE AKBAR	第三内科
Current Medicinal Chemistry 13;3113-3119(2006)	Dendritic cell-based therapy as a multidisciplinary approach to cancer treatment: present limitations and future scopes.	SHEIKH MOHAMMAD FAZLE AKBAR	第三内科
Diabetes Frontier 17;98-101(2006)	2型糖尿病における速効型インスリン分泌促進薬と持続型インスリンアナログ併用療法の有効性の検討	松浦 文三	第三内科
Journal of Gastroenterology 41;814-815(2006)	Understanding the precise function of interferon regulatory factor 3 in hepatitis C virus replication will lead to a new strategy for therapy.	日浅 陽一	第三内科
Hepatol Res. 37(3);214-20(2007)	Prevalence of hepatitis E virus among wild boar in the Ehime area of western Japan.	古川 慎哉	第三内科
J Gastroenterol. 37(3);214-220(2006)	Clinical features of symptomatic primary biliary cirrhosis initially complicated with esophageal varices.	古川 慎哉	第三内科
愛媛医学 26(1);12-16(2007)	Genome microarray(アレイCGH法)を用いた口腔癌抑制遺伝子のスクリーニング法の検討	三木 哲郎	老年科
Hypertens Res. 29(11);891-6(2006)	Relationship between metabolic syndrome and Trp64arg polymorphism of the beta-adrenergic receptor gene in a general sample: the Shigaraki study.	三木 哲郎	老年科
Hypertens Res. 29(4);227-32(2006)	Interaction between serotonin 2A receptor and endothelin-1 variants in association with hypertension in Japanese.	三木 哲郎	老年科
Life Sciences (2006)	A novel alternative splice variant of nicastrin and its implication in Alzheimer disease.	三木 哲郎	老年科
Neuropsychologia 44;566-575(2006)	A horse of a different colour:Do patients with semantic dementia recognize different version of the same object as the same?	池田 学	精神科神経科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Neurologica Taiwanica 15:65-66(2006)	Interventional studies with the aim of reducing the burden of care through drug therapy of BPSD.	池田 学	精神科神経科
Neurology 66:935-937(2006)	Correlation of visual hallucinations with occipital rCBF changes by donepezil in DLB.	森 崇明	精神科神経科
脳神経 58:785-790(2006)	日本語版NPI-DとNPI-Qの妥当性と信頼性の検討	松本 直美	精神科神経科
老年精神医学雑誌 17:977-985(2006)	アルツハイマー病の運転能力低下に関するスクリーニング検査—ドライビングシミュレーターを用いた運転能力評価について—	松本 光央	精神科神経科
日本内視鏡外科学会雑誌 11(3);(2006)	内視鏡下静脈手術で用いるサージカルデバイスの適切な使用法	八杉 巧	第一外科
J Comput Assist Tomogr 31(1);93-97(2007)	Preoperative Evaluation of Perigastric Vascular Anatomy by 3-Dimensional Computed Tomographic Angiography Using 16-Channel Multidetector-Row Computed Tomography for Laparoscopic Gastrectomy in Patients With Early Gastric Cancer.	小林 展章	第一外科
Transplantation 83(3);257-262(2007)	Nonalcoholic steatohepatitis in donors for living donor liver transplantation.	小林 展章	第一外科
癌と化学療法 33(13):2089-2092(2006)	Gemcitabine, Docetaxel, Capecitabine を組み合わせた GTX療法を行った進行膀胱癌の2例	小林 展章	第一外科
Asian Cardiovasc Thoracic Annals 14:20-5(2006)	Perioperative Circulating Blood Volume and Cardiac in Valve Disease	角岡 信男	第二外科
J of Surgical Research 131:58-63(2006)	Localization and changes of diamin oxidase during cardiopulmonary bypass in rabbits	河内 寛治	第二外科
Endocrine Journal 53:125-132(2006)	Short-term preoperative octreotide treatment of GH-secreting pituitary adenoma: predictors of tumor shrinkage.	大西 丘倫	脳神経外科
Jpn J Neurosurg 15:680-687(2006)	悪性グリオーマの手術 - 統合ナビゲーション導入後の治療成績	大西 丘倫	脳神経外科



## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
愛媛医学 25(2):112-121(2006)	限局型または分節型頸椎後縦靭帯骨化症に対する Keyhole Anterior Approachおよびチタン製ケージを用いた 低侵襲前方到達法	松井 誠司	脳神経外科
Jpn J Neurosurg 15:177-184(2006)	中枢神経系原発悪性リンパ腫の治療	大西 丘倫	脳神経外科
脳卒中の外科 34(6):434-439(2006)	未破裂・無症候性脳動脈瘤の手術成績—高次脳機能、 MRI、脳血流評価の意義—	大西 丘倫	脳神経外科
Geriat Neurosurg 18:3-7(2006)	未破裂脳動脈瘤に対する開頭手術が高次脳機能と脳 血流に及ぼす影響の検討	大西 丘倫	脳神経外科
Interventional Neuroradiology 12:178-184(2006)	Stenting Procedure for Sinus Stenosis with Transverse-Sigmoid Dural Arteriovenous Fistulas	大西 丘倫	脳神経外科
Journal of Dermatological Science 41:21-30(2006)	Enzyme-linked immunosorbent assay using bacterial recombinant proteins of human BP230 as a diagnostic tool for bullous pemphigoid	橋本 公二	皮膚科
Anticancer Res 26:3403-3408(2006)	Mitochondrial DNA mutations and 8-hydroxy-2'- deoxyguanosine content in Japanese patients with urinary bladder and renal cancers	横山 雅好	泌尿器科
Biochem Biophys Res Commun 347(4):1158-1165(2006)	Inactivation of AR activates HGF/c-Met system in human prostatic carcinoma cells	横山 雅好	泌尿器科
泌尿器外科 19(8):1037-1039(2006)	限局性前立腺癌に対する3D-CRTにおける排尿障害 の検討	横山 雅好	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌 97(6):777-481(2006)	尿路上皮癌に対するGC療法 (GemcitabineとCisplatin 併用療法)-MVAC療法 (Methotrexate, Vinblastine, Doxorubicin, Cisplatin併用療 法)との副作用に関する比較-	横山 雅好	泌尿器科
Arch Ophthalmol. 124:387(2006)	Demonstration of aqueous streaming through a laser iridotomy window against the corneal endothelium.	宇野 敏彦	眼科
あたらしい眼科 23(10):1359(2006)	外眼部細菌性感染症由来の臨床分離株に対するモキ シフロキサシンの抗菌活性	宇野 敏彦	眼科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Current Eye Research 31(2);129-136(2006)	Role of angiotensin II receptor subtypes in conjunctival wound healing	溝上 志朗	眼科
American Journal of Ophthalmology 141(4);669-675(2006)	Marx line: Fluorescein Staining Line on the Inner Lid as Indicator of Meibomian Gland Function	山口 昌彦	眼科
Cornea 26(1);105-106(2007)	Dendritic keratitis caused by an acyclovir-resistant herpes simplex virus with frameshift mutation	白石 敦	眼科
Laryngoscope 117(2);361-363(2007)	Repair of a Malleus-Handle Fracture Using Calcium Phosphate Bone Cement	暁 清文	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 33(1);67-70(2006)	Irinotecan (CPT-11) combined with cisplatin for small cell carcinoma of the nasal cavity	兵頭 政光	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床 52(6);367-375(2006)	通年性アレルギー性鼻炎に対するベシル酸ベポタステンの有用性	兵頭 政光	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床 52(4);249-255(2006)	加齢による嚥下機能の変化	兵頭 政光	耳鼻咽喉科
音声言語医学 47(4);372-378(2006)	Voice Handicap Index日本語版による音声障害の自覚的評価	兵頭 政光	耳鼻咽喉科
音声言語医学 47(2);234-239(2006)	音声外科手術におけるCTを用いた画像診断と手術への応用	兵頭 政光	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報 57(2);84-90(2006)	内喉頭筋における筋紡錘および知覚神経終末	兵頭 政光	耳鼻咽喉科
愛媛医学 25(2);108-111(2006)	脳動脈瘤の診断における3T 3D-TOF MRAの初期経験	三木 均	放射線科
日本磁気共鳴医学会雑誌 26;200-208(2006)	心臓の3T MRI	東野 博	放射線科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Regional Anesthesia and Pain Medicine 31(5);409-416(2006)	Fluoroscopically Guided Epidural Block in the Thoracic and Lumbar Regions	長櫓 巧	麻酔科蘇生科
European Journal of Pharmacology 546;69-73(2006)	A comparison of protective effects between L-histidine and hypothermia against ischeneuronal damage in gerbil hippocampus	元木 敦子	麻酔科蘇生科
European Journal of Pharmacology 544;181-187(2006)	Suppression of ischemia/reperfusion liver injury by histamine H4 receptor stimulation in rats	元木 敦子	麻酔科蘇生科
Int J Oral Max-fac Surg(International Journal of & Oral Maxillofacial Surgery) 35(4);362-365(2006)	Detection of p16 promoter methylation in the serum of oral cancer patients	浜川 裕之	歯科口腔外科
日本口腔組織培養学会雑誌 15(1);35-36(2006)	唾液腺癌に対する合成PPARγリガンドの血管新生阻害効果	浜川 裕之	歯科口腔外科
日本口腔組織培養学会雑誌 15(1);41-42(2006)	ヒト唾液腺腺様嚢胞癌におけるプロゲステロンレセプター的作用に関する検討	浜川 裕之	歯科口腔外科
Head & Neck 28(9);842-849(2006)	The importance of molecular analysis in detecting cervical lymph node metastasis in head and neck squamous cell carcinoma	浜川 裕之	歯科口腔外科
Dental Materials J 25(3);591-596(2006)	Effects of apatite foam combined with platelet-rich plasma on regeneration of bone defects	浜川 裕之	歯科口腔外科
Biochem Biophys Res Commun 347(4);1158-1165(2006)	Inactivation of AR activates HGF/c-Met system in human prostatic carcinoma cells.	浜川 裕之	歯科口腔外科
Int J Oncol 29(5);1111-1117(2006)	P53-dependent radiosensitizing effects of Hsp90inhibitor17-Allylamino-17-demethoxygeldanamycin on human oral squamous cell carcinoma cell lines	浜川 裕之	歯科口腔外科
口腔組織培養学会誌 15(2);29-36(2006)	膜型増殖因子EGF familyの新たな細胞内シグナリング伝達機構とがん研究応用への展望	浜川 裕之	歯科口腔外科
愛媛医学 26(1);32-38(2007)	口腔扁平上皮癌細胞株における膜型増殖因子 amphiregulinの発現とshedding反応の亢進	小屋 恵理子	歯科口腔外科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Pharmacological Sciences 100;59-64(2006)	Effect of clarithromycin on the pharmacokinetics of cabergoline in healthy controls and in patients with Parkinson's disease	野元 正弘	神経内科 創薬治療内科
Annals of Nuclear Medicine	Thallium-201 SPECT in Prognostic assessment of Malignant Gliomas Treated with Postoperative Radiotherapy	越智 誉司	放射線部
Current Hypertension Reviews 2:311-316(2006)	Role of renin-angiotensin system in vascular endothelial dysfunction of pregnancy-induced hypertension.	松原 圭一	周産母子センター
American Journal of Reproductive Immunology 56;1-7(2006)	Circulating Endothelial Progenitor Cells During Normal Pregnancy and Pre-Eclampsia.	松原 圭一	周産母子センター
Journal of Angiotensin Research 3(2);21-25(2006)	妊娠維持における循環調節と胎児発育に果たすRASの役割	松原 圭一	周産母子センター
Pediatric Allergy and Immunology 18;281-287(2007)	Before-birth climatologic data may play a role in the development of allergies in infants.	楠目 和代	周産母子センター
日集中雑誌 13;16-18(2006)	血液培養検査の採血における諸問題-中心静脈カテテルからの採血について-	土手 健太郎	集中治療部
World Journal of Surgery 130;2010-2015(2007)	Significance of laparoscopic splenectomy in patients with hypersplenism	渡部 祐司	低侵襲・がん治療センター
Cell Tissue Res 326;69-77(2006)	New skin-equivalent model from de-epithelialized amnion membrane	白方 裕司	再生医療研究センター

計 105 小計 9

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 横山 雅好
管理担当者氏名	放射線部長 望月 輝一, 薬剤部長 荒木 博陽, 看護部長 田渕 典子 総務課長 藤原 楠生, 人事労務室長 大 六 隆, 医事課長 森 数彦 医療サービス課長 重松 章三, 経営管理課長 松本 健三, 研究協力室長 亀岡 輝芳

(様式第12)

書 類 区 分		保管場所	分 類 管 理	
診療に関する諸記録 病院日誌，各診療科日誌，処方箋， 手術記録，看護記録，検査所見記録， エックス線写真，紹介状， 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各診療科 薬剤部 看護部 放射線部 医事課 経営課	エックス線写真は集中管理 (放射線部) カルテは経営課で一括保管 (1患者1カルテ)	
病院の管理 及び運営 に関する 諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務室		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力室		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数，外来患者数及び調剤の数を 明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	号規 に則 掲第 げ9 る条 体の 制2 確3 保及 のび 状第 況1 1 条 各	専任の医療に係る安全管理を 行うものの配置状況		医療サービス室
		専任の院内感染対策を行う者 の配置状況		医療サービス室
		医療に係る安全管理を行う部 門の設置状況		医療サービス室
	当該病院内に患者からの安全 管理に係る相談に適切に応じ る体制の確保状況	医療サービス室		
	医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	医療サービス室		
	医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況	医療サービス室		
	医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況	医療サービス室		
	医療機関内における事故報告 等の医療に係る安全の確保を 目的とした改善のための方策 の状況	医療サービス室		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営部長 長島 一博
閲覧担当者氏名	総務課長 藤原 楠生
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.9%	算定機関	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	8964 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5618 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	275 人	
	D: 初診の患者の数	15059 人	

## 規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 19 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告のあったインシデントのモニタリング, 分析及び影響レベルの判定に関する事。</li> <li>・ 判定した影響レベルが, 3 b 以上のものについて, インシデント審議委員会への報告に関する事。</li> <li>・ インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関する事。</li> <li>・ 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関する事。</li> <li>・ 医療安全管理委員会等で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関する事。</li> <li>・ 安全管理に関する教育・研修等の実施に関する事。</li> <li>・ 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関する事。</li> <li>・ 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関する事。</li> <li>・ 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関する事。</li> <li>・ 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導にかんすること。</li> <li>・ 他の委員会, 患者相談窓口等他部門及びリスクマネージャー等との連絡調整に関する事。</li> <li>・ 医療事故防止等に係る情報提供に関する事。</li> <li>・ その他医療の質の向上及び安全管理に関する事。</li> </ul> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の立場に立ち, 患者が安心して医療を受けられる環境を整え, 患者のプライバシーを尊重のため全職員に周知・徹底する。</li> <li>・ 安全管理に関する最高決定機関として医療安全管理委員会を置き, 病院長が統括する。事故発生に当たっては迅速かつ公正な問題解決のためインシデント審議委員会, インシデント調査委員会を組織する。誰もがエラーを起こす可能性があることを踏まえ, システム指向で対応策を検討し, 実施する。</li> <li>・ インシデントの原因解明のため情報の共有は不可欠であり, 早期に情報を把握し, 職員全員で共有できるよう対応する。</li> <li>・ 患者に何らかの傷害が生じた場合には, 迅速かつ適切な治療を行い, 救命や回復に全力を注ぐとともに患者や家族に十分な情報の提供を行う。さらに, 過失か否かの判断や組織的に対応するために, 公正に客観的に評価を行い, 患者やその家族, 社会に説明責任を果たすよう努める。</li> <li>・ 患者に納得のいく医療を提供するため患者相談窓口を設け, 相談・意見・苦情等に耳を傾け, 適切な対応を行うとともに医療の質の改善に資する。</li> <li>・ 職員が安全な医療の重要性を認識し, 積極的に安全を推進していくことが出来るよう安全管理に関する教育・研修の実施に努める。</li> <li>・ 医療事故防止・医療安全管理マニュアル, 各種マニュアルを作成し, 周知徹底を図り, 適宜見直しを行う。</li> </ul> </li> </ul>	



⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全のための指針等の策定及び変更に関すること。</li> <li>・ 医療事故防止対策の検討に関すること。</li> <li>・ インシデントの分析及び再発防止策の検討，実施に関すること。</li> <li>・ 医療事故防止に係る啓発，教育及び研修に関すること。</li> <li>・ 医療事故に対する対応策の策定に関すること。</li> <li>・ 患者及び家族等の被害者への対応に関すること。</li> <li>・ 関係公的機関等への報告に関すること。</li> <li>・ 報道に関すること。</li> <li>・ その他，医療の安全及び医療事故対策に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全に関する研修会「新規採用者に対する医療安全職員研修会」 平成18年度新規採用の医師・コメディカルに対し，本院の医療安全システムの理解を深め，医療事故防止を図るため，関係各部門の職員を講師に迎え講演を開催し，合計54名の出席があった。</li> <li>・ 医療安全に関する研修会 「チーム医療と医療安全～クルーリソースマネージメントの活用～」 大阪ベルラント総合病院 医療安全管理室長 楠本 茂雅氏を講師迎え，医療はチームで患者の治療を行うことについて講演。合計520名の参加で，近隣の病院などからも出席があった。</li> <li>・ 医療安全に関する研修会「中途採用者に対する医療安全職員研修会」 平成18年度中途採用の医師・看護師・コメディカルに対し，本院の医療安全システムの理解を深め，医療事故防止を図るため，関係各部門の職員を講師に迎え講演を開催し，DVD 回覧も含め合計44名の出席があった。</li> <li>・ 医療安全に関する研修会：インスリン関係，シリンジポンプ・輸液ポンプの取り扱い 院内の講師4名で「インスリン過剰投与及び低血糖時の対応について（実演）」，「インスリンと低血糖時の対応について（講義）」，「シリンジ・輸液ポンプの取り扱い（実演）」を実施した。ビデオ回覧も含め合計678名の参加があった。</li> <li>・ 院内感染に関する講演会「病院感染対策上 重要な細菌について」 本院の臨床検査技術部門 宮本仁志主任臨床検査技師を講師に迎え，上記テーマで講演があった。ビデオ回覧も含め合計680名の出席があった。</li> <li>・ 医療安全に関する講演会「医療事故とインフォームド・コンセントに関する法律上の責任」 東京大学病院 医療安全管理学講座 前田正一准教授を講師に迎え，上記テーマで講演があった。ビデオ回覧も含め合計679名の出席があった。</li> <li>・ 院内感染に関する講演会「カテーテル関連血流感染症のガイドライン」 名古屋大学病院 医療経営管理部 杉浦伸一先生を講師に迎え，上記テーマで講演があった。ビデオ回覧も含め合計670名の出席があった。</li> </ul> </li> </ul>	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有  無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - ・ 入院患者の持参薬管理に関する基準の作成
  - ・ 『緊急連絡網』, 『救急カートの統一について』, 『薬剤関連』のマニュアルの改善
  - ・ 身体行動制限（拘束・抑制）に関する説明同意書の変更
  - ・ 本院の手術後の鎮痛薬注入指示書の統一
  - ・ 当院における処方「薬用量」表示例の周知
  - ・ 主な抗癌剤の区別, 比較についての周知
  - ・ 『医療事故防止・安全管理マニュアル』（ポケット版）の改訂に伴い病院全職員に配布